

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	家庭 家庭基礎		単位数	2 単位	履修学年	2 年
目標	生活者としての自己認識と生活に関する科学的認識を基礎として、生活課題を主体的に解決し、現在および将来の生活を充実向上することのできる資質・能力を育成する。					
使用教材	教科書：「新家庭基礎」未来へつなぐパートナーシップ（実教出版）					
評価の観点・評価規準	（関心・意欲・態度）	（思考・判断）	（技能・表現）	（知識・理解）		
	生活産業や家庭の各分野に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、創造的・実践的な態度を身につけている。	生活産業や家庭の各分野に関する諸問題の解決を目指して、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	生活産業や家庭の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	生活産業や家庭の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、生活産業の社会的な意義や役割を理解している。		
評価方法	関心・意欲・態度を総合的に判断して評価します。					
学期	学習内容			学習のねらい		
1	1．私たちの食生活を見つめる 2．栄養と食品のかかわり 3．食品の選び方と安全			栄養、食品、調理、食品衛生などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、家族の生活を健康で安全に営むことができるようにする。		
2	1．食生活をデザインする 2．これからの食生活を考える 3．人と住まいのかかわり			栄養、食品、調理、食品衛生などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、家族の生活を健康で安全に営むことができるようにする。		
3	1．主体的な消費行動 2．消費者の権利と責任 3．資源・環境を考える			家庭経済や消費生活に関する基礎的な知識を習得させるとともに、現代の消費生活の課題について認識させ、消費者として責任をもって行動できるようにする。		
学習上の留意点	本校では、家庭基礎を2年、3年の2年間かけて行います。実習もあるので積極的に参加するように心がけてください。					